

令和6年度 学校体育担当者会議

令和6年4月30日（火）13:00～
オンライン開催

- | | | |
|---|--------------------------|-----|
| 1 | 令和6年度教育施策の概要（学校体育班） | P1 |
| | （1）保健体育課の目標 | |
| | （2）学校体育の充実 | |
| 2 | 事業説明 | P3 |
| | （1）体力向上推進リーダー配置事業 | |
| | （2）体育授業エキスパート派遣事業 | |
| | （3）体力向上研修会【新】 | |
| | （4）体力アップ・マイベストチャレンジ！ | |
| | （5）いきいき岡山っ子☆運動習慣カード | |
| | （6）みんなでチャレンジランキング | |
| | （7）令和6年度新体力テストについて | |
| | （8）部活動指導員配置事業 | |
| | （9）「部活動の地域移行」推進事業 | |
| | （10）「学校部活動方針」実践推進事業 | |
| 3 | 中学校武道授業について | P22 |
| 4 | 体育活動中における安全管理等について | P23 |
| | （1）水泳授業について | |
| | （2）熱中症事故等の防止について | |
| | （3）組体操指導及び事故防止について | |
| 5 | 令和6年度岡山県総合教育センター研修講座 一覧表 | P31 |
| 6 | その他 | P32 |
| | 指導資料紹介 | |

岡山県教育庁保健体育課
学 校 体 育 班

保健体育課の目標

子どもたちが生涯にわたり、たくましく生きていくための基盤となる健康・体力づくりの促進

＜最重要事項：子どもたちの体力の向上＞

第3次岡山県教育振興基本計画（R3～R6）

「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合

※第3次生き生きプラン「生き生き指標」

現況値(R5)：小男72.1% 小女53.5% 中男64.3% 中女44.9%

※小女を除き全国平均以上であるが、中女で低下傾向

目標値(R6)：小男75.0% 小女60.0% 中男65.0% 中女50.0%

楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上

「体育・保健体育の授業は楽しい」と回答した児童生徒の割合

学 年	性別	R5年度の状況	
		岡山県	全国平均
小学校5年生	男	75.5%	74.7%
	女	58.1%	59.0%
中学校2年生	男	58.2%	53.6%
	女	43.8%	38.6%

子どもたちが達成感を感じられる機会の提供〔一校1チャレンジ〕

1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒の割合

学 年	性別	R5年度の状況	
		岡山県	全国平均
小学校5年生	男	9.1%	9.0%
	女	16.4%	16.3%
中学校2年生	男	12.2%	11.0%
	女	25.7%	24.9%

体力の向上

新体力テストにおける総合評価D及びEの児童生徒の割合

学 年	性別	R5年度の状況	
		岡山県	全国平均
小学校5年生	男	34.5%	35.8%
	女	29.3%	29.3%
中学校2年生	男	32.7%	32.7%
	女	19.3%	19.1%

生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進

生涯にわたって心身の健康を保持増進
豊かなスポーツライフを実現、継続するための資質・能力を育成

運動が好きになる

よく運動をする

体力が向上する

学校体育の充実

学習指導要領における目指す姿

小学校

- ◆ その特性に応じた各種の運動の行い方を理解する。
- ◆ 基本的な動きや技能を身に付ける。
- ◆ 身近な生活における健康・安全について理解する。

中学校

- ◆ 各種の運動の特性に応じた技能等を理解する。
- ◆ 基本的な技能を身に付ける。
- ◆ 個人生活における健康・安全について理解する。

高等学校

- ◆ 各種の運動の特性に応じた技能等を理解する。
- ◆ 技能を身に付ける。
- ◆ 社会生活における健康・安全について理解する。

岡山県教育委員会の施策

体育授業の充実

- ・ 一単位時間の授業5
- ・ 体育、保健体育授業での「めあて」と「ふり返り」の設定

体力向上推進リーダー配置事業 (小) 【新規】

体育授業エキスパート派遣事業 (小・中)

研修会等

- ・ 体育担当者研修会
- ・ 体育実技指導者講習会 (伝達講習、学校体育実技指導資料)

体力向上研修会 (小)

運動の習慣化と体力向上に向けて

いきいき岡山っ子☆運動習慣カード (小)

体力アップ・マイベストチャレンジ! (小・中)

みんなでチャレンジランキング (小・中・高)

- ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の考察と今後の取り組み

一校1チャレンジ

オリンピック・パラリンピック教育の推進

学校体育の充実

運動部活動の推進

- ・ 小学校地区別学童記録会共催

- < 部活動指導員配置事業 >
- < 「学校部活動方針」実践推進事業 >
- ・ モデル校での実践研究
- 効率的効果的な活動、部活動を通じた食育
- ・ 指導者研修会・優良事例発表会
- < 高等学校運動部活動支援事業 >
- ・ 環境整備
- < 「部活動の地域移行」推進事業 >
- ・ 実証研究(7市町) 県立中・中等教育学校

・ 学校体育実技指導資料(R5) ・ 学校部活動指導資料(R6)

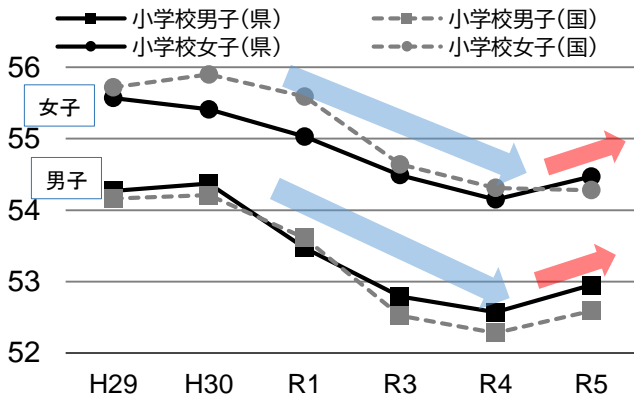
岡山県学校部活動の在り方に関する方針

生涯にわたって心身の健康を保持増進
豊かなスポーツライフを実現、継続するための資質・能力を育成

小学校体育等充実プログラム

<現状と課題>

新体カテスト体力合計点の推移【小学校】



- 1 小学校の新体カテストの体力合計点
 - ・これまで続いてきた低下傾向に歯止めがかかる。
 - ・男女で全国平均を上回ることができたが、コロナ前の水準に戻っていない。
- 2 「体育の授業が楽しいと答えた児童」の割合
 - ・**小学校女子で全国平均を下回っている。**
- 3 小学校教員の体育の指導力
 - ・必ずしも十分なスキルや自信を持っている者ばかりではない。
 - ・担任によって体育指導の内容に差がある。

「楽しく、学びのある授業」 体育授業の充実

【新】体育向上推進リーダー配置事業(R6~)

- ・ 体力向上推進リーダー(体育授業専科教員)を配置するとともに、TTによる授業を担当教員と行うことにより、教員の指導力の向上
- ・ 児童の多様な課題へ対応し、児童の達成感や成功体験の増加

体力向上研修会(R5~)

- ・ 体育授業・体力向上に関する知識意識の向上
- ・ 各校の取組の検証改善サイクルの確立

体育授業エキスパート派遣事業(R2~)

- ・ 希望する小中学校に指導主事を派遣し、学校における授業改善等をサポート(年24回程度)
- ・ 研究授業の指導助言者、校内研修や実技講習等の講師として派遣

新体カテスト実施の手引き・新体カクエスト(R2~)

- ・ 新体カテストの正しい実施方法や体力アップにつながる運動等を動画で紹介
- ・ 動画視聴による体力向上への意欲向上

スポーツ活動奨励事業(H22~)

- ・ 県スポーツ振興課の主催事業
- ・ 小学校の体育授業等へ専門の指導者を派遣

「体育以外の運動時間の増加」 運動の習慣化

体力アップ・マイベストチャレンジ！(R2~)

- ・ 児童生徒自らが新体カテストにおける目標を設定し、記録更新にチャレンジ(上位層だけではなく、個人の伸びを評価)
- ・ 達成児童生徒にマイベストバッジを配付することによる体力向上への意欲向上

いきいき岡山っ子☆運動習慣カード(R2~)

- ・ ビンゴカードの要素を取り入れた運動習慣を把握するためのカードを配布し、児童生徒の運動の習慣化を促進
- ・ 運動マスター達成者(年間2回以上)に運動マスターバッジを配付することによる運動の習慣化への意欲向上

みんなでチャレンジランキング(H18~)

- ・ インターネット上で県内の他の学校園とさまざまな運動(運動遊び)の記録を競う
- ・ 年間上位チームを記録回数と挑戦回数の2つの部門で表彰

体力アッププログラム(H21~)

- ・ 体育科・保健体育科の授業や休み時間等に簡単に活用できる運動プログラムを掲載
- ・ 体力向上と運動時間数増加を促進

運動やスポーツが好きな子どもの育成

体力向上・心身の健康の保持増進
豊かなスポーツライフの実現

もっと、
やりたい！

楽しい！



新 体力向上推進リーダーの配置

- 体育科の指導に長けた教員2名を各教育事務所管内のモデル中学校区の小学校に1名ずつ配置
- 【目的】
- 体力向上推進リーダー（体育専科教員）を配置するとともに、TTによる授業を担当教員と行うことにより、教員の指導力の向上を図る。
- 複数の教員で体育授業を行い、児童の多様な課題に対応することで、児童が楽しみながら学ぶことができるようになり、体育授業内で達成感や成功体験を多く積むことができるようにする。

内容	事業のポイント等	期待される効果
専科の配置	運動領域、保健領域の専門的知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の知識、技能を有する教員による授業により、効果的な授業の実施 ・楽しく行い身に付く体育授業の実施
TTによる授業	担任教員との2人体制	<ul style="list-style-type: none"> ・TTによる授業を行い、担任教員が指導・声掛けのコツ、評価の仕方等を学ぶことで指導力向上 ・児童の安全面の確保 ・一人当たりの教員の負担軽減 ・児童の多様な課題への対応⇒児童の達成感や成功体験の増加
連絡協議会	年に2回開催 体力向上推進リーダー 関係市町村教委担当者 配置校管理職 県教委担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の事例や指導と評価について共有することにより、意識や活用できるデータの共有により、体力向上推進リーダーの負担軽減 ・市町村教委、配置校管理職、県教委担当者も参加し、進捗状況・課題・改善策等の協議 ・最新情報（スポーツ庁）の共有を図り、指導に反映
実践発表	体力向上研修会で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・各校での実践発表を説明することで、全県への好事例の周知 ・次年度の配置校についてのデータ収集
県外視察	専科教員配置県（大分県等）の 学校視察	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の事業（授業）の課題を見つけ、よりよい活用（実践）についての情報収集 ・今後の岡山県内での展開についての見通し

- 【事業による効果】○教員 ◎児童
- 指導力の向上、負担軽減 ⇒ 体力への関心が高まる
 - ◎授業中の怪我の減少、達成感や成功体験が増加
⇒ 「運動やスポーツが好き」な児童の増加

<1年間で行うこと>

【専科教員】

- 担任教員とのTT授業（拠点校+近隣校2校程度）
- 体育授業の準備等
- 指導と評価の計画の作成 ※楽しく身に付く体育授業参照
- 楽しく身に付く体育授業の実施のための研究
※特に運動の場の設定、子どもへの言葉かけ
- ◎実践発表（12月）の準備 ※県保健体育課担当者が協力



楽しく身に付く体育授業

【保健体育課担当者】

- 体育授業の視察、指導、助言（4月～8月：週1程度 9月以降：月1程度）
- 専科教員のサポート（体育授業に関する質問等）
- ◎実践発表（12月）の準備のサポート

「体育授業エキスパート派遣事業」

～楽しい体育授業を目指して～

運動やスポーツが好きな児童生徒の育成につながる楽しい体育科・保健体育科授業の実施に向けて、岡山県教育庁保健体育課指導主事の派遣による研修支援を行い、教員の指導力向上を図る。

< こんな時に、ご活用ください。 >

新学習指導要領での、
体育授業のポイント
を知りたい。

効果的なウォーミング
アップの行い方を
知りたい。



もっと子どもの運動
時間を増やしたい。

新体カテストの正しい
実施の仕方について教
職員で共通理解したい。

- 体育科・保健体育科の研究授業での指導助言、教職員対象の研修の講師として岡山県教育庁保健体育課の指導主事を派遣します！
- 対象は公立小・義務教育学校・中・中等教育学校〔前期課程〕等
※岡山市を除く
※地域や中学校区での体育連盟等の研修会を含む

派遣に関する
費用は不要！



©岡山県「ももっち」

< 申込手続等 >

【実施前】

①派遣日を決める。

- ・派遣希望日の1か月前までに、岡山県教育庁保健体育課へ連絡し、派遣日時等を決定する。

②申請書を提出する。

- ・申請書を作成し、岡山県教育庁保健体育課へ提出する。
※市町村立学校は、市町村教育委員会を通じて提出。



【実施後】

①実施報告書を提出する。

- ・実施後、1か月以内に実施報告書を作成し、岡山県教育庁保健体育課へ提出する。
※市町村立学校は、市町村教育委員会を通じて提出。

< その他 >

【申請書・実施報告書】

申請書、実施報告書は県教育庁保健体育課HPよりダウンロード可能

<https://www.pref.okayama.jp/page/660394.html>

【連絡先・申込先】

岡山県教育庁保健体育課学校体育班（担当：小河、宮崎）

TEL：086-226-7592

メール：naoyuki_kogawa@pref.okayama.lg.jp



体力向上研修会【R5～】

1 事業概要

- ・ 体育授業・体力向上に関する知識意識の向上
- ・ 各校の取組の検証改善サイクルの確立



2 令和5年度の体力向上研修会の様子

1回目〈令和5年8月〉



2回目〈令和6年2月〉実技編



3 令和6年度の体力向上研修会 期日

1回目 令和6年6月28日（金）岡山県総合教育センター

2回目 令和7年12月頃（予定）



令和6年度「体力アップ・マイベストチャレンジ!」

子供たちが運動することの喜びや楽しさを感じられるよう、体力合計点だけでなく、個人ごとの伸びや頑張りを評価・顕彰し、子どもたちの運動に対する関心や意欲を高める。

< 目的 >

- **体力向上への意欲を高める**
新体力テストの8項目の中から、自分が記録を伸ばしたい2項目を選んで自己記録更新を目指す
- **運動習慣の定着を図る**
自己記録更新に向けて、一人ひとりが学校と家庭で具体的な取組を継続して行う

< スケジュール・事業内容 >

令和5年
10月
)

●参加校募集

- ・参加を希望する小学校及び特別支援学校小学部の1～5年生の児童と中学校・中等教育学校(前期課程)及び特別支援学校中学部の1～2年生の生徒。
※岡山市を除く、先着10,000人程度(参加は学校又は学年単位)

●参加校決定

令和6年
1月
)

●目標設定(令和5年度新体力テストの結果から)

- ・「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」※中学校は「ハンドボール投げ」から**2項目選ぶ**。

- ・選んだ2項目の令和6年度新体力テストでの目標得点を**一人ひとりが設定する**。

得意の「反復横とび」を8点から9点にするぞ。



苦手の「握力」を2点から4点にしたい。

●目標達成に向けて取組開始

- ・目標達成に向け、一人ひとりが学校と家庭で取り組むことを決め、継続して実施する。

【学校での取組例】



- ・ 休み時間に外に出て遊ぶ。
- ・ 鉄棒や雲梯などの遊具遊びをする。
- ・ 「みんなでチャレンジランキング」にエントリーする。
- ・ 「体力アッププログラム」に紹介されているプログラムをする。

【家庭での取組例】



- ・ お風呂の中でグーパー運動をする。
- ・ お風呂上がりにストレッチをする。
- ・ 休みの日に家族とキャッチボールや縄とびをする。
- ・ 「体力アッププログラム」に紹介されているプログラムをする。

令和6年
4～7月

●令和6年度新体力テスト実施

●表彰

次の児童生徒を表彰する。

- ①選んだ2項目の得点合計が令和5年度の結果より3点以上アップした児童生徒
- ②令和6年度新体力テストの体力合計点が74点以上の児童生徒

※優秀章として、マイベストバッジを送付する。



< 令和5年度「体カアップ・マイベストチャレンジ！」参加状況 >

	参加校数	参加人数	目標達成人数	目標達成率
小学校	54校	5,811名	2,403名	41.1%
中学校	6校	661名	308名	46.6%

< 令和5年度参加校の声と実績 >



【小学校】

- 「もう一回したい!」といった結果に貪欲な声が増えた。過去の記録と比べることができ、目標がはっきりわかるので子どもたちの意欲に繋がった。(津山市立勝加茂小学校 達成率**64.0%**)
- 年度当初から令和4年度の体カテストの結果を細かく児童と共有したことで、6月の新体カテストに向かって体カアップができた。新体カテストまでの期間に、「この種目をあとこれだけ伸ばせばバッジがもらえる。」というように、目標に向かって挑戦できる環境を整えたことで成果が得られた。Aバッジを獲得する予定の児童も増え、体カアップ・マイベストチャレンジがAバッジ獲得に直結していることが分かった。(新見市立塩城小学校 達成率**100%**)
- 児童が考えた取組を教師が繰り返し声掛けをすることの大切さを感じた。自分なりに努力をすることで、しっかりと記録を更新していた児童がいた。低学年は去年の記録を意識できている児童が少なかったが、高学年では、意識して取り組んでいる児童が多かった。(真庭市立湯原小学校 達成率**100%**)

【中学校】

- それぞれが目標をもって、体カテストに臨んでいた。体カ向上に向けて、良い取り組みになった。(井原市立木之子中学校 達成率**63.6%**)
- 生徒が一人一人目標を持って取り組むことができ、昨年度より体カアップした生徒が多かったです。振り返りもきちんとできており、次につながる取り組みができた。その反面、低下している生徒も見受けられ、今後はこの低下をどのようにしてなくしていくかが課題だと感じた。運動不足だと感じている生徒も多いため、体育の授業で運動時間の確保を行っていききたい。(勝央町立勝央中学校 達成率**64.5%**)

< 参加申込み >

令和6年度「体カアップ・マイベストチャレンジ!」への参加を希望する学校は、下記URLまたは二次元バーコードから必要事項を回答ください。

【URL】<https://forms.gle/GsLI megu l gaV2YhX7>



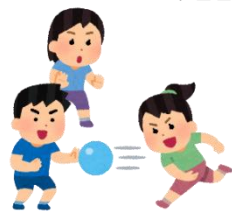
【募集期間】令和5年9月25日(月)~令和5年12月29日(金)

※募集期間内であっても、定員に達した場合、募集を終了することがあります。

【問合せ先】岡山県教育庁保健体育課 学校体育班 指導主事(主任) 小河 直之

E-mail : naoyuki.kogawa@pref.okayama.lg.jp

TEL:086-226-7592



マイベストバッジ

令和6年度「体カアップ・マイベストチャレンジ！」参加申込校一覧

R6.4.15

番号	学校名	参加学年						参加児童 生徒数	
		小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中2年		中3年
1	倉敷市立旭丘小学校	0	0	56	50	57			163
2	倉敷市立葦高小学校	100	86	104	137	101			528
3	倉敷市立下津井西小学校	8	14	12	11	6			51
4	倉敷市立菅生小学校	83	50	78	71	78			360
5	倉敷市立倉敷東小学校	59	60	73	58	60			310
6	倉敷市立柳井原小学校	5	9	12	9	2			37
7	倉敷市立川辺小学校	28	40	39	38	50			195
8	津山市立院庄小学校	24	25	25	15	26			115
9	津山市立高倉小学校	16	14	14	14	27			85
10	津山市立高野小学校	78	81	81	63	67			370
11	津山市立清泉小学校	7	1	14	6	6			34
12	津山市立加茂小学校	24	23	23	17	24			111
13	津山市立勝加茂小学校				20	25			45
14	津山市立北小学校	38	44	40	42	44			208
15	玉野市立後閑小学校	2	3	3	1	4			13
16	玉野市立山田中学校						9	18	27
17	玉野市立日比小学校	11	20	16	14	18			79
18	笠岡市立城見小学校	21	12	18	22	19			92
19	笠岡市立神島外小学校	3	7	4	5	4			23
20	井原市立井原中学校	112	127						239
21	井原市立青野小学校	1	2	6	3	7			19
22	総社市立阿曾小学校	23	22	20	17	15			97
23	総社市立新本小学校	11	14	10	13	9			57
24	総社市立清音小学校	57	70	60	62	60			309
25	総社市立総社北小学校	19	25	25	26	33			128
26	総社市立池田小学校	7	4	4	2	7			24
27	総社市立常盤小学校	150	125	150	131	124			680
28	総社市立総社西小学校	13	24	23	27	15			102
29	高梁市立高梁小学校	0	0	50	41	69			160
30	高梁市立松原小学校	1	0	2	1	1			5
31	高梁市立福地小学校	2	3	2	2	2			11
32	高梁市立落合小学校	37	34	28	31	34			164
33	新見市立塩城小学校	2	3	7	4	5			21
34	新見市立高尾小学校				9	8			17
35	新見市立思誠小学校			54	59	56			169
36	新見市立神郷北小学校			5	1	9			15
37	新見市立千屋小学校	1	1	1	4	3			10
38	新見市立草間台小学校	4	4	5	2	0			15
39	新見市立矢神小学校	8	3	3	7	6			27
40	新見市立新砥小学校		4	3	4	7			18
41	新見市立西方小学校	7	10	11	9	13			50
42	新見市立野馳小学校	7	4	9	5	10			35
43	備前市立西鶴山小学校	5	7	7	7	6			32
44	瀬戸内市立長船中学校						127	128	255
45	吉備中央町立下竹荘小学校	0	2	1	4	2			9
46	吉備中央町立吉川小学校	1	3	6	3	4			17
47	吉備中央町立上竹荘小学校	8	5	10	9	9			41
48	吉備中央町立大和小学校	9	11	9	11	11			51
49	吉備中央町立吉備高原小学校	16	17	20	18	15	11	13	86
50	真庭市立櫻邑小学校	1	1	2	2	0			6
51	真庭市立遷喬小学校	0	0	60	55	71	5	5	186
52	真庭市立湯原小学校	9	11	17	10	13			60
53	真庭市立美甘小学校	2	2	2	4	6			16
54	真庭市立北房小学校				41	42			83
55	真庭市立余野小学校	0	2	2	3	3			10
56	真庭市立川東小学校	17	17	17	17	19			87
57	真庭市立中和小学校	0	2	2	3	4			11
58	美作市立江見小学校	0	0	0	20	25			45
59	美作市立美作北小学校					62			62
60	美作市立勝田中学校						11	13	24
61	浅口市立鴨方東小学校	38	58	48	42	54			240
62	新庄村立新庄中学校						5	5	10
63	西粟倉村立西粟倉小学校	12	7	10	13	12			54
64	勝央町立勝央北小学校			36	38	33			107
65	勝央町立勝間田小学校	66	80	63	62	78			349
66	美咲町立美咲中央小学校	16	29	19	20	36			120
	合計	1169	1222	1421	1435	1616	168	182	7179

おかやま こ うんどうしゅうかん 「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」について

「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」は、みなさんが日頃どれくらい運動
や体を動かす遊びをしているかを確認し、今まで以上に運動や体を動かす
遊びをする時間を増やしていくためのものです。たくさん運動したり体を動
かす遊びをしたりして、心も体も元気な岡山っ子を目指しましょう。

つか かた 【使い方】

- 1 カードを受け取ったら、やまおり線に沿って二つ折りにします。



- 2 うんどう からだ うご あそ じかん
運動や体を動かす遊びをした時間に○をつけます。

この場合、○が7つ付いていて、ビンゴは3つできているよ。



うんどう じかん 運動した時間		ごぜん ごご ごご 午前 午後 午後 あさ ひる (家に帰ってから/ (朝) (昼) ゆうがに夕方)		
		ひ	に	ち
5 / 27	げつ (月)	○	○	○
5 / 28	か (火)	○	○	○
5 / 29	すい (水)	○	○	
5 / 30	もく (木)		○	
6 / 1	きん (金)		○	○
6 / 2	ど (土)		○	○
6 / 3	にち (日)			○

ぜんぶ わく なか
全部の枠の中に○
が付くと、ビンゴ
は8つできるよ。



〈○を付けるときのルール〉

①時間について

- 午前（朝）とは、登校前の時間や業間休みの時間などです。
※休日は、朝起きてからお昼までの時間です。
- 午後（昼）とは、昼休みや放課後の時間などです。
※休日は、お昼から夕方までの時間です。
- 午後（家に帰ってから／夕方）とは、家に帰ってから寝るまでの時間などです。
※休日は、夕方から寝るまでの時間です。

②運動や体を動かす遊びについて

体育の授業と通学の時間を除いた、運動や体を動かす遊びをした時間に○をつけます。

例：登校前の時間にラジオ体操やウォーキングをしたとき
業間休みに鬼ごっこやドッジボールをしたとき
昼休みに鉄棒やジャングルジムで遊んだとき
放課後になわとびをしたり一輪車に乗ったりしたとき
お風呂の中でグーパー運動をしたとき
寝る前にストレッチをしたとき
休みの日に公園の遊具で遊んだとき
休みの日に家族の肩もみをしたとき

なお、スイミングスクールやスポーツ少年団の大会や練習などがあつた時間は、○を付けることができます。

③○をつけるチャンスは2～3回あります。

例：月曜日の午前（朝）、運動ができなくても、火曜日の午前（朝）に運動すれば、○が付けられます。

月曜日の午前（朝）、運動をして、火曜日の午前（朝）にも運動をした場合は◎にするなど、工夫することもできます。

④4週間で16ピンゴ以上達成したら、「運動マスター」になれます。

- 3 4週間の取組が終わったら、ビンゴ達成認定証をお家の人や先生に書いてもらいます。

たっせい にんてい しょう
ビンゴ達成認定証


きかん 期間(5/27)～(6/23)の4週間で ビンゴ達成

うんどう からだ うご あそ せつきよくてき
あなたは運動や体を動かす遊びに積極的に

と く にんてい
取り組んだことを認定します

れいわ ねん がつ にち
令和 年 月 日

うんどう かいすう
☆「運動マスター」になった回数… 回



ゆうしゅうしょう
【優秀章】

つぎ じょうけん ひと ゆうしゅうしょう うんどう
次の2つの条件をクリアした人には、優秀章の「運動マスターバッジ」が届きます。



ねんかん かいじょう おかやま こ うんどうしゅうかん つか うんどうしゅうかん
①年間3回以上、「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を使った運動習慣づくりを行う。

ねんかん かいじょう いじょう たっせい うんどう
②年間2回以上、16ビンゴ以上を達成する（運動マスターになる）。

もうしこみ おお ばあい ちゅうせん かのうせい
※申込が多い場合、抽選になる可能性があります。

こんねんど かくこう さんか あら しゅうかん さくせい
今年度から各校がより参加しやすいように新たに2週間のカードを作成したので、学校の実態に応じて活用可。2週間の取組の場合は、10ビンゴ以上達成で運動マスターとする。

「みんなでチャレンジランキング」参加状況(令和5年度)

(1)過去の参加状況

R5.3.29現在

	参加チーム数	参加人数	園数	学校数	※参加割合	参加学校園数
H18	607	8,939	0	69		69
H19	1,660	22,934	2	120		122
H20	2,048	27,491	2	145		147
H21	1,979	29,102	2	145		147
H22	2,174	28,995	3	157		160
H23	2,303	30,128	8	191		199
H24	2,122	37,411	11	178		189
H25	2,846	43,357	11	218		229
H26	2,721	37,528	11	228		239
H27	4,405	62,958	15	277		292
H28	3,578	48,809	13	281		294
H29	3,091	42,534	12	250		262
H30	2,848	35,700	11	222		233
R1	1,562	54,152	6	197	32.0%	203
R2	1,310	43,132	4	155	25.3%	159
R3	1,273	42,118	3	155	25.3%	158
R4	1,210	36,766	2	147	24.3%	149
R5	1,419	48,602	10	173	28.9%	183

※公立学校の参加割合

(2)市町村別参加状況

	市町村 教育委員会	参加校数										R5参加校数内訳			
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	小学校	中学校	高校	特支
1	岡山市	50	48	45	32	30	22	14	14	17	20	20	0	0	0
2	倉敷市	38	57	55	47	39	39	20	20	21	22	22	0	0	0
3	津山市	12	13	14	16	17	11	10	16	11	15	15	0	0	0
4	玉野市	8	19	18	18	16	13	5	4	4	4	4	0	0	0
5	笠岡市	6	10	12	8	8	8	9	6	5	4	3	1	0	0
6	井原市	8	6	9	6	6	5	4	8	8	13	11	2	0	0
7	総社市	12	12	13	12	10	11	12	11	9	11	11	0	0	0
8	高梁市	8	10	11	9	12	9	9	6	3	6	6	0	0	0
9	新見市	8	8	14	10	10	6	5	9	12	13	13	0	0	0
10	備前市	9	12	11	11	9	5	5	4	4	3	3	0	0	0
11	瀬戸内市	5	6	5	7	6	6	7	5	5	6	5	1	0	0
12	赤磐市	10	7	8	12	5	6	5	1	4	3	3	0	0	0
13	真庭市	7	9	12	10	8	8	11	8	7	12	12	0	0	0
14	美作市	4	3	5	6	3	4	7	7	5	4	4	0	0	0
15	浅口市	3	5	5	3	3	4	4	4	1	5	5	0	0	0
16	和気町	2	5	4	1	3	4	3	3	2	1	1	0	0	0
17	早島町	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0
18	里庄町	2	1	1	2	3	2	1	2	1	1	1	0	0	0
19	矢掛町	5	6	6	6	6	5	4	4	5	5	5	0	0	0
20	新庄村	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0
21	鏡野町	4	5	2	3	2	4	2	2	1	3	2	1	0	0
22	勝央町	1	1	1	1	2	3	2	2	2	2	1	1	0	0
23	奈義町	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0
24	西粟倉村	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
25	久米南町	2	2	1	2	2	1	2	2	3	2	2	0	0	0
26	美咲町	3	5	1	4	2	1	2	4	3	4	4	0	0	0
27	吉備中央町	7	5	8	7	7	6	5	5	4	6	6	0	0	0
	県立・私立・国立	12	20	16	13	6	7	1	4	7	5	1	1	3	0
	合計	228	277	281	250	222	197	155	155	147	173	163	7	3	0

令和6年度新体力テスト実施要項

1 実施目的

児童生徒の体力への関心を高めるとともに、その現状を明らかにし、積極的な体力づくりを推進するために実施する。

2 実施内容

(1) 公立小・義務教育学校（前期課程）・特別支援学校（小学部）…新体力テスト（6歳～11歳）実施要項による。

(2) 公立義務教育学校（後期課程）・中・中等教育・高等学校・特別支援学校（中学・高等部）…新体力テスト（12歳～19歳）実施要項による。

※義務教育・中・中等教育・高等学校の「持久走」と「20mシャトルラン」の選択は、20mシャトルランを実施してください。（持久走ではありません。）

3 実施対象

(1) 公立小・義務教育学校…………… 全学年

(2) 公立・中・中等教育・高等学校…………… 全学年

(3) 公立特別支援学校…………… 全学年

※児童生徒の実態等を考慮して、実施の是非を適切に判断ください。

4 実施の期間

令和6年4月～令和6年7月

5 集計表の作成

(1) 公立小学校、義務教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部）

個人記録（別紙様式1「岡山県新体力テスト記録用紙小学校様式」を必ず使用）を集計し、別紙様式2（R6）の集計表に、該当事項（組・番・性・名前等）をもれなく正確に記入する。

(2) 公立義務教育学校（後期課程）、中・中等教育、高等学校、特別支援学校（中学・高等部）

個人記録（別紙様式3「岡山県新体力テスト記録用紙中学・中等教育学校・高等学校様式」を必ず使用）を集計し、中学・中等教育学校は別紙様式4（R6）の集計表に該当事項（組・番・性・名前等）をもれなく正確に記入する。高等学校は別紙様式6（R6）の集計表に、正確に記入する。

6 集計表の提出期限及び方法

(1) 市町村（組合）立小・中・高等学校

所管教育委員会あて、**令和6年8月8日（木）**までに別紙様式2・4・6の集計表を**電子媒体**で提出する。

(2) 市町村（組合）教育委員会

別紙様式2・4・6の集計表をもとに、別紙様式5の段階別一覧表に集計し、**令和6年8月27日（火）**までに、別紙様式2・4・6の集計表及び別紙様式5の段階別一覧表を県教育庁保健体育課学校体育班担当あて**電子媒体**で提出する。

※提出先：naoyuki_kogawa@pref.okayama.lg.jp（件名：新体力テストデータ）

(3) 県立学校

県教育庁保健体育課学校体育班担当あて、**令和6年8月8日（木）**までに別紙様式2・4・6による集計表を**電子媒体**で提出する。

※提出先：naoyuki_kogawa@pref.okayama.lg.jp（件名：新体力テストデータ）

7 優秀章

小・義務教育・中・中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（小学部・中学部）でのA段階取得者に対し、優秀章（Aバッジ）を交付する。（※高等学校への交付はありません）

8 その他

今回、提出した個人データは、新体力テストに係る分析以外には使用しません。

【本件担当】

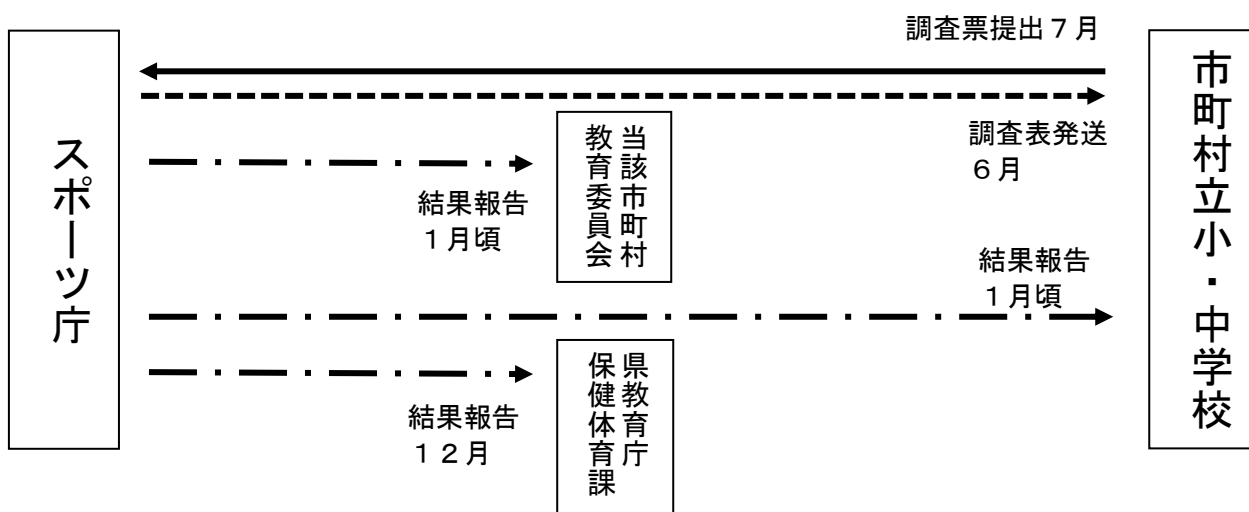
岡山県教育庁保健体育課 学校体育班
指導主事（主任）小河 直之

TEL 086-226-7592 FAX 086-226-3684

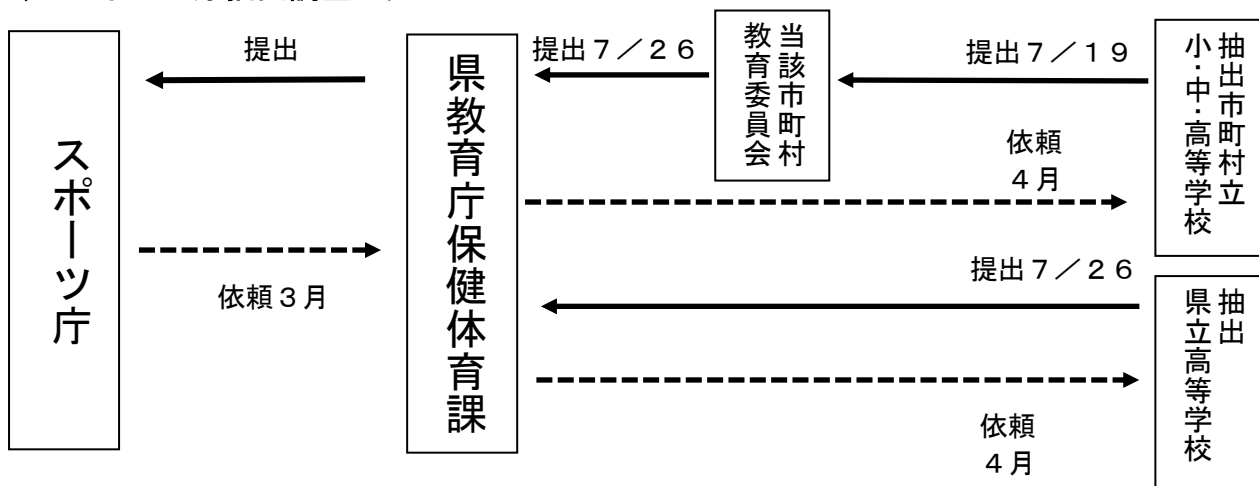
E-mail naoyuki_kogawa@pref.okayama.lg.jp

令和6年度新体カテスト実施の流れについて

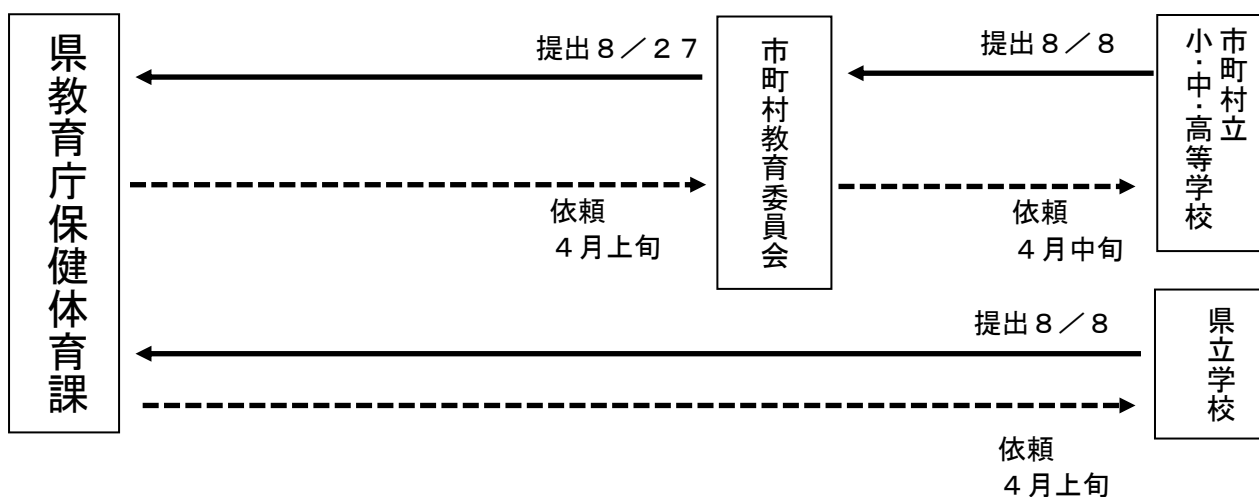
〈 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 〉



〈 スポーツ庁抽出調査 〉



〈 県悉皆調査 〉



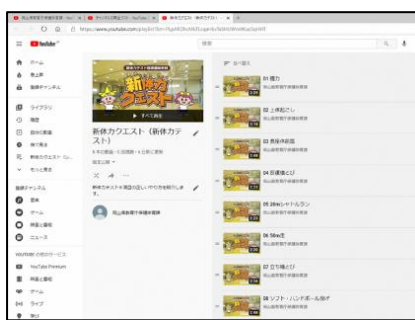
新体カテスト補助教材及び実施の手引きについて

1 新体カテストの正しい実施方法や体力向上につながる運動等を紹介した動画 (YouTube に掲載)



「新体カクエスト」(新体カテスト編)
新体カテストの正しい実施方法及び実施時のポイントを紹介した動画

【URL】 <https://youtube.com/playlist?list=PLpARDhcMkTLcqaHkvTa5HUWmXKuz3qHHT>



「新体カクエスト」(体力レベルアップ編)
体力向上につながる運動等を紹介した動画

【URL】 <https://youtube.com/playlist?list=PLpARDhcMkTLc9eaYP33cBA9ovn81C4bod>

※YouTube の HP から『岡山県』『新体カテスト』のタグでも検索できます。

また、県教育庁保健体育課 HP に YouTube のリンクも掲載しておりますので、御利用ください。

2 新体カテスト「実施の手引き」の作成 (県教育庁保健体育課 HP に掲載)



【URL】 <https://www.pref.okayama.jp/page/697332.html>

※「実施の手引き」は、ダウンロードして御活用ください。

☆「新体カクエスト」「実施の手引き」ともに、新体カテストの実施のみならず、児童生徒の体力向上の取組や運動習慣作りの参考として、積極的に御活用ください。

子どもたちの体力づくり

令和6年度版

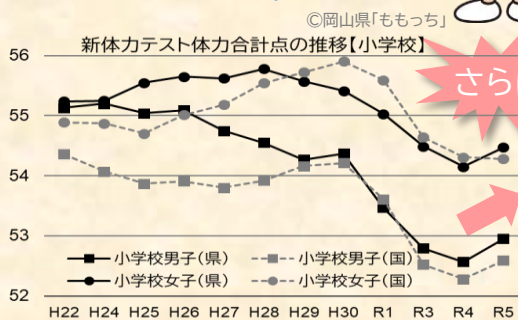
お手伝いします！



©岡山県「うらっち」

先生方の日々の努力の結果、子どもたちの体力低下に歯止めをかけることはできましたが、コロナ禍前の数値には至ってません。引き続き、「楽しく学びのある授業」による体育授業の充実とともに、「一校1チャレンジ」による「運動の習慣化」や「体育以外の運動時間の増加」が、とても重要だと考えています。

県保健体育課では、体力向上の取組に、ご活用いただける様々な事業を実施しています。是非ご連絡ください！



さらに

「一校1チャレンジ」で運動の習慣化を！

● 体力アップ・マイベストチャレンジ！ 小中特【R6.10～募集】

児童生徒自らが、新体力テストの目標を設定し、自己記録の更新にチャレンジします！

達成者には、バッジを贈呈します！↑↓



● いきいき岡山っ子☆運動習慣カード 小【R6.4～R7.2下旬】

ビンゴカードの要素を取り入れた運動習慣カードを使用し、運動の習慣化を応援します！



● みんなでチャレンジランキング 幼小中高特【R6.5～R7.3】

インターネット上で県内の他の学校園とさまざまな運動(運動遊び)の記録を競争します！

体育授業をより楽しく！

● 体力向上推進リーダー(体育専科)派遣事業【新】 小【R6.4～】

小学校に体育専科を配置し、担任教員とともに体育授業を行うことで、教員の指導力が向上し、児童が運動の楽しさを味わえるようにします！

● 体育授業エキスパート派遣事業 小中【通年受付】

県保健体育課の指導主事が、学校を訪問し、授業改善等をサポートします！短時間でもOK！

● いきいき岡山っ子 体力アッププログラム 小中【通年掲載】

体育・保健体育の授業や休み時間等に、簡単に活用できる運動プログラムを写真でまとめ、分かりやすく紹介しています！

家庭でも体力づくりを！

● 新体力クエスト 小中【通年掲載】

家庭でも手軽にできる体力向上につながる運動や運動遊びを紹介した動画「新体力クエスト」をYouTubeに掲載していますので、ご活用ください！



【お問合せ先】

岡山県教育庁保健体育課 学校体育班

TEL:(086)226-7592〔直通〕 E-mail:hotai@pref.okayama.lg.jp



【別 紙】

部活動指導員を配置した中学校における部活動指導の状況

1 部活動指導員を配置した学校数、部活動数、部活動指導員配置人数（R5 年度実績）

市町村数	学校数	部活動数	配置人数	実配置人数	未配置人数
23 / 26	80	154	164	156	7

2 部活動の指導状況

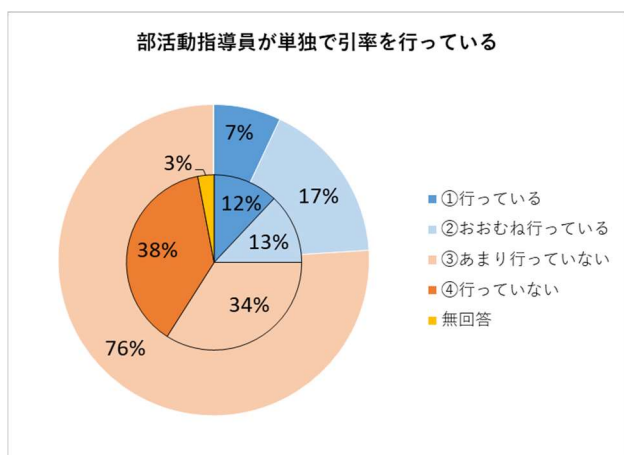
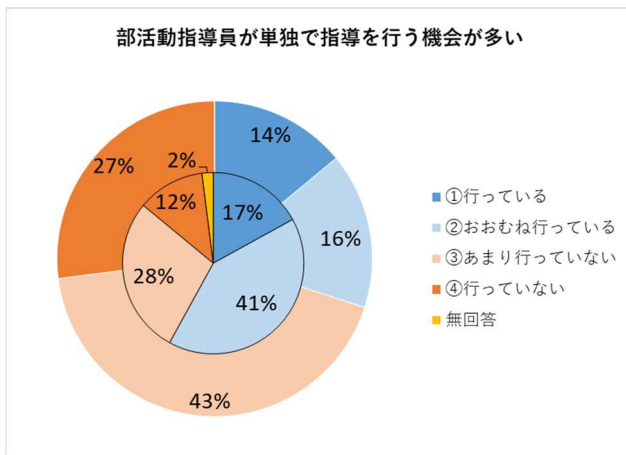
【調査対象期間】※第1期：令和5年 6月1日～ 6月30日（任意の1週間）

※第2期：令和5年10月1日～10月31日（任意の1週間）

(1) 負担軽減感（管理職）

「そう思う」「おおむねそう思う」が、令和5年度、第1期調査では96.0%、第2期調査では、93.0%と高い値であった。

(2) 単独指導・単独引率の状況（外側が6月の第1期調査結果、内側が10月の第2期調査結果）



3 運営上の課題等

- ・第2期調査では、第1期調査に比べ、単独指導が実施されている学校が大幅に増加し、単独引率の実施率は、若干増加した。しかし、単独引率の実施率は25%程度と低い状況である。今後も市町村教育委員会と連携し、研修会等で事業趣旨の徹底を継続して行う。
- ・地域または種目によっては、人材確保が困難な状況が見られるため、今後も県スポーツ協会、県スポーツ振興課等と連携しながら、県内での効果的な人材確保に努める。

地域スポーツクラブ活動体制整備事業等



令和6年度予算額 (案) 2,738,192千円
(前年度予算額 2,470,899千円)

方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能な多様なスポーツ環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。

事業内容

I. 地域クラブ活動への移行に向けた実証事業

10億円 (10億円) 委託・拡充
14億円 [令和5年度補正予算額]

各道府県・市区町村の地域スポーツの推進体制等の下で、コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を推進する。

(1) 地域クラブ活動への移行に向けた実証 ※取組例

- 体制整備**
 - 関係団体・市区町村等との連絡調整
 - コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方
 - 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保
- 指導者の質の保障・量の確保**
 - 人材の発掘・マッチング・配置
 - 研修・資格取得促進
 - 平日・休日の一貫指導
 - ICTの有効活用
- 関係団体・分野との連携強化**
 - スポーツ協会、競技団体、大学、企業等
 - スポーツ推進委員、地域おこし協力隊
 - まちづくり、地域公共交通

面的・広域的な取組

- 地域クラブ活動の拡大
- 市区町村等を超えた取組
- 参加費用負担の軽減
- 支援等
 - 困難世帯の支援
 - 費用負担の在り方
- 学校施設の活用等
 - 効果的な活用や管理方法

※ 実証事業2年目となる地域クラブ活動は、原則、国費だけでなく、一定の割合の受益者負担や行政・関係団体の自主財源からの支出、企業等からの寄附などの組み合わせにより、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築し、検証。
※ 平日・休日の一貫指導や市区町村を超えた取組など、地域の実情に応じた最適化・体験格差の解消を図る意欲的な取組を充実。

★ 重点地域における政策課題への対応

重点地域における政策課題への対応

- ＜主な政策課題＞
 - 多様なスポーツ体験の機会の提供
 - 高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
 - スクールバスの活用や地域公共交通との連携
 - 不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
 - トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
 - 企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用
- ・体育、スポーツ系の大学生、パラスリット等を含むアスリート人材等の活用
- ・学校体育施設の拠点化や社会体育施設との一体化などによる地域スポーツの活動拠点づくり
- ・動画コンテンツ等の活用
- ・多様なニーズに対応した大会の開催 等

(2) 課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等

- ・事業成果の普及方策、地域クラブ活動の整備の進展に伴う新たな課題の整理・解決策の検討
- ・運営形態の類型や競技ごとの地域クラブ活動のモデル・プロセス、組織マネジメント等の分析・検証
- ・単一自治体での対応が困難な場合の地域クラブ活動の整備促進方策の検討 等

※1 補助割合について、都道府県又は指定都市の場合は、国1/3、都道府県・指定都市2/3。
※2 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)等の仕組みも活用。

II. 中学校における部活動指導員の配置支援

15億円 (12億円) 補助・拡充
各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒のニーズを踏まえた充実した活動とする。(補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1

部活動指導員の配置を充実【13,000人】

III. 地域における新たなスポーツ環境の構築等

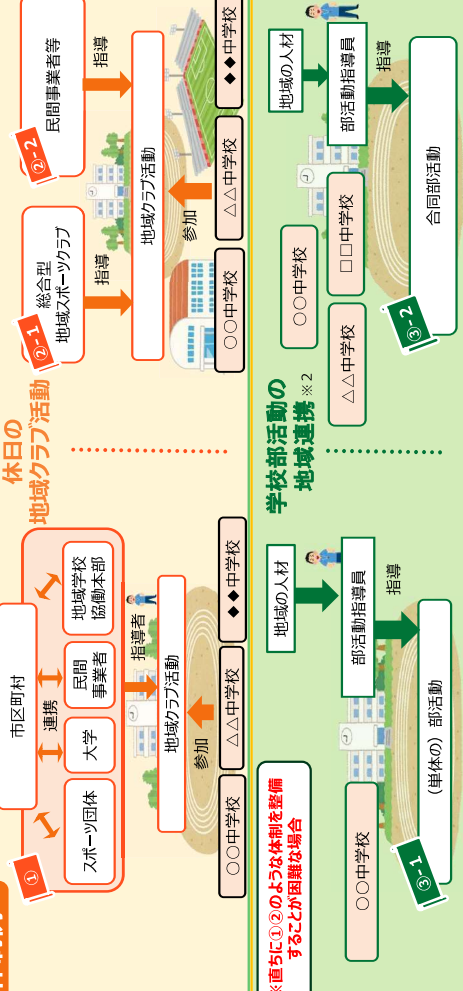
補助・委託

上記の施策を支える新たなスポーツ環境の構築等のため、以下の取組を実施。
・公立中学校の施設の整備・改修を支援(用具保管の倉庫設置、スマートロック設置に伴う扉の改修等)
・指導者養成のための講習会や暴力等の根絶に向けた啓発活動の実施等。
・大学生が卒業後も継続的に地域の中学生の指導に当たる仕組みを構築。
・デジタル動画を活用した部活動・地域クラブ活動のサポート体制の構築(ポータル新設)

方向性



体制例



* 本資料における「スポーツ」には障害者スポーツ、「中学校」には特別支援学校(中学部)等を含む。体制例は、あくまでも一例である。(担当：スポーツ庁地域スポーツ課)

「部活動改革」～部活動の地域移行～

子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会確保・充実について

スポーツ・文化芸術活動の機会を**学校主体**の取組から**地域主体**の取組へ移行するために、令和3年度から国の委託事業を活用し、実践・実証研究に取り組んできた。

■令和3年度から令和4年度の事業で得られた課題

- ・関係者の理解が進んでいない
- ・実施主体、指導者の質と量の確保
- ・施設の確保
- ・費用負担
- ・危機管理 等

■令和5年度モデル市町による実証研究

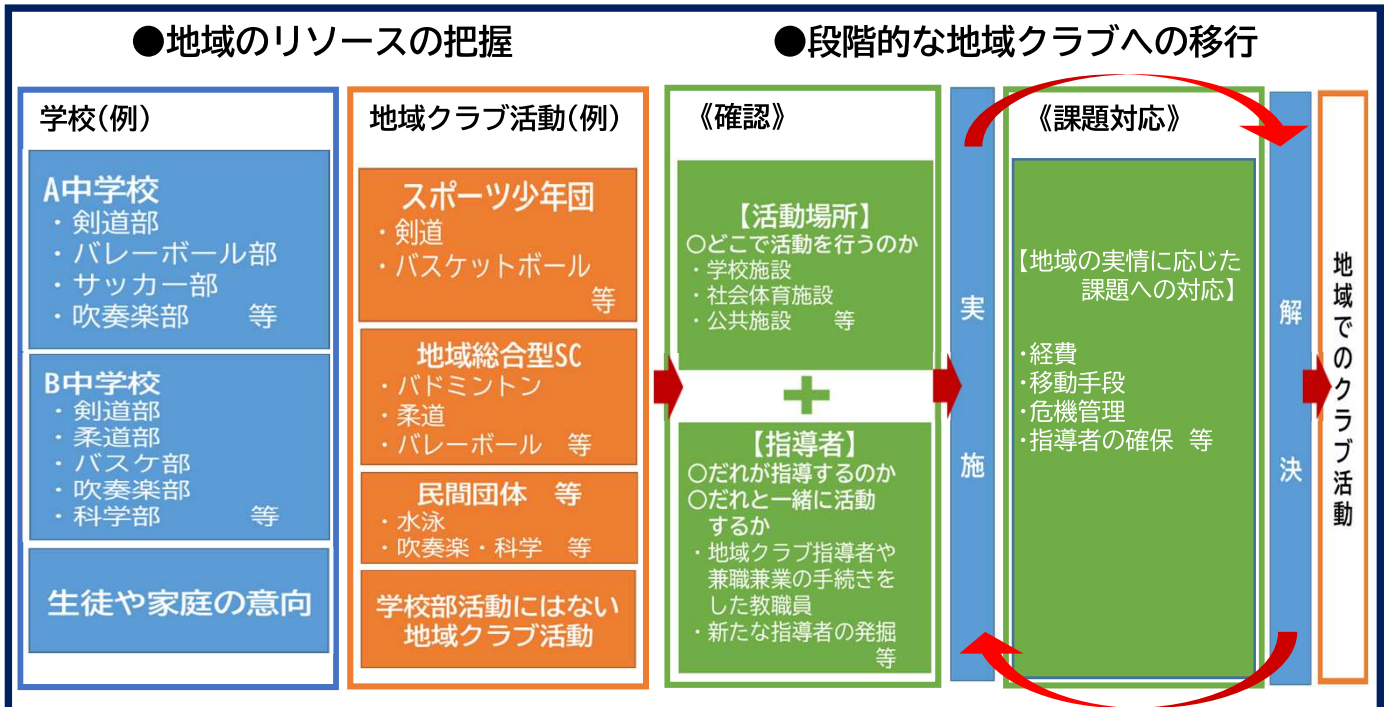
モデル市町・・・玉野市、備前市、和気町、早島町

〈取組〉・協議会を開催、広報誌等の活用(関係者の理解)

- ・地域のリソースの把握(実施主体の確保、指導者の確保)
- ・地域クラブ指導者への研修会の実施(指導者の質の確保)
- ・拠点施設の集約及び活動の実施(施設の確保)
- ・受益者負担の検討及び予算支援(費用負担の在り方) 等

■学校部活動の地域クラブ活動への移行を実施するにあたり、初めの1歩が踏み出せない現状がある

〈地域クラブ活動への移行の進め方例〉



モデル市町の実証研究の普及や地域移行支援アドバイザーの派遣により、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す

子どもたちにとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の実現

令和6年度「学校部活動方針」実践推進事業 実施要領

1 目的

「岡山県学校部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動が、地域、学校、競技種目等に応じ、県内で展開されるよう、県学校、県中学校体育連盟及び市町村教育委員会等と連携・協力の上、モデル校での実践研究を行うとともに、研修会の開催や優良実践事例集の作成・配付により、スポーツ医・科学に基づいた指導や体罰・ハラスメント根絶等に関する知見の普及を図る。

2 実施主体

岡山県教育委員会

3 事業内容

(1) モデル校での実践研究

○研究テーマ及び実施校数等

ア 合理的でかつ効率的・効果的な活動実践 [中学校1校、高等学校1校]

イ 部活動を通じた食育の実践 [中学校1校、高等学校1校]

※各モデル校での研究を市町村教育委員会等へ委託する場合、実施主体は、次の経費を負担。

- ・謝金（講師・指導者等への謝礼 等）
- ・旅費（講師・指導者・選手等の交通費、教職員の視察費 等）
- ・その他、実践のための諸経費（但し、一品10万円以上の備品購入は除く。）

ウ 優良実践事例集の作成・ホームページへの掲載

(2) スポーツ医・科学に基づいた指導や体罰・ハラスメント根絶に関する知見の普及

ア 研修会の開催

- ・開催回数：年3回
- ・対象者：学校部活動顧問、栄養教諭等
- ・研修テーマ

- ・合理的でかつ効率的・効果的、生徒主体の活動
 - ・体罰・ハラスメントの根絶
 - ・スポーツ栄養の観点を取り入れた食育の取組

4 事業スケジュール（予定）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【モデル校での実践研究】											
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">←</div> <div style="text-align: center;">事業実施</div> <div style="text-align: center;">→</div> </div>											
関係者との打合せ				事前・事後アンケート				報告書等提出			
【スポーツ医・科学に基づいた指導や体罰・ハラスメント根絶に関する知見の普及】											
研修会①～③									優良実践発表会		

中学校武道授業について

1 武道授業について

平成 24 年度からの柔道指導の対応について（岡山県の方針）

- 投げ技は 4 つの技に絞り、膝車→支え釣り込み足→体落とし→大腰の順で指導する。
- 固め技、投げ技の練習は、3 人組で行い、見取りや相互評価等を行う。
- 投げ技は、約束練習を中心に行い、無理に乱取りをする必要はない。

※授業では、基本的な内容に絞って指導

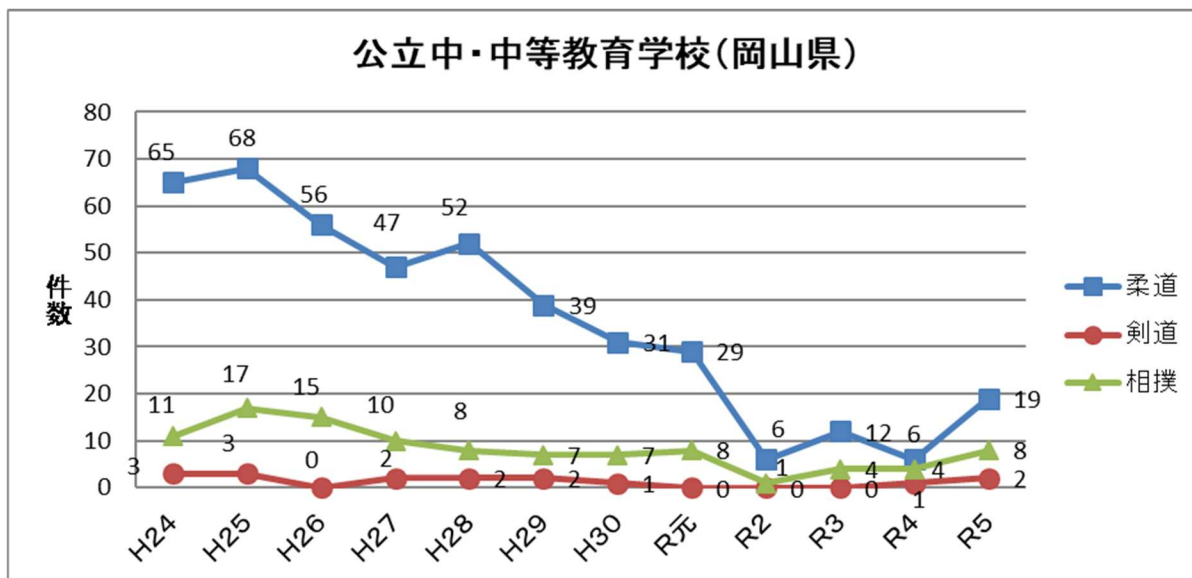
※受け身、固め技を中心に授業を実施

2 県内公立中・中等教育学校における武道授業でのけがの状況 ※資料作成時点

令和 5 年度	柔 道	剣 道	相 撲
件 数	19 件	2 件	8 件

※参考資料

武道必修化以降の県内公立中・中等教育学校武道授業におけるけがの年次推移



(県教委より)

H24の必修化以降、柔道授業でのケガは、減少していたが、令和5年度は前年度より増えている。重篤な事故はなかったが、改めて次のことについては、御留意願います。

- 準備運動の内容・時間、技の取扱い時期、畳等の環境整備等の状況把握と指導
- 頭部打撲時の対応等については、市町村教委も学校への指導を徹底
 - ・その時異常がなくても経過観察を必ず行う。
 - ・家庭に経緯を必ず連絡し、様子を見てもらう。
 - ・病院へ搬送する場合は、状況説明ができる教員等が必ず付き添う。
 - ・授業復帰は慎重に行う。(セカンドインパクトシンドロームを想定)

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各都道府県知事
各指定都市市長
附属学校を置く各国立大学法人学長 殿
各国公私立高等専門学校長
独立行政法人国立高等専門学校機構理事長
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の長

スポーツ庁次長
角田喜彦

水泳等の事故防止について（通知）

標記については、例年関係方面の御協力をいただいているところでありますが、海や河川における水難事故及びプールでの水泳事故等により依然として多くの犠牲者が出ております（別添1、2参照）。

については、今夏における水泳等の事故防止のため、関係機関・団体と密接な協力の下、下記事項及び「プールの安全標準指針」（平成19年3月文部科学省・国土交通省策定）（別添3）を参考として、地域の実情に即した適切な措置を徹底するとともに、衛生管理についても十分御配慮願います。

また、プールの利用が増加する夏季を前に、所管のプールの施設・設備について、安全点検及び確認を徹底していただきますようお願いいたします。仮に、施設・設備に不備があることが判明した場合には、安全確保のための措置が講じられるまでの間は、当該プールの使用を中止するようお願いいたします。

これらの事故防止のための安全確保が図られるよう、都道府県・指定都市及び都道府県教育委員会におかれては、関連する部局・課に周知の上、必要に応じて連携するとともに、都道府県及び都道府県教育委員会におかれては、市区町村及び市区町村教育委員会に通知する際に、市区町村の関連各課にも周知を徹底するよう御配慮願います。

なお、学校における対応については、上記対応に併せて、別紙「学校における児童生徒等に対する水泳指導等について」にも留意願います。このことについて、都道府県・指定都市教育委員会教育長におかれては、所管の学校及び市区町村教育委員会に対して、都道府県知事におかれては、所轄の学校法人及び学校設置会社に対して、株式会社立学校を認定した地方公共団体の長におかれては、認可した学校に対して周知されるようお取り計らい願います。

1. プールの施設面、管理・運営面について

(1) プールの利用期間前に、排（環）水口の蓋の設置の有無を確認し、蓋がない場合及び固定されていない場合は、早急にネジ・ボルト等で固定するなどの改善を図るほか、排（環）水口の吸い込み防止金具についても丈夫な格子金具とするなどの措置をし、いたずらなどで簡単に取り外しができない構造とすること。また、屋内プールにあっては、吊り天井の脱落防止のための点検を行う等の安全対策を講ずること。

(2) プールを安全に利用できるよう、救命具の設置や、プールサイド等での事故防止対策を行うとともに、適切かつ円滑な安全管理を行うための管理体制を整えること。

監視員については、プール全体がくまなく監視できるよう十分な数を配置し、救護員についても、緊急時に速やかな対応が可能となる数を確保すること。

【参考】スポーツ庁「学校における水泳事故防止必携〔2018年改訂版〕」

https://www.jpnssport.go.jp/anzen/Portals/0/anzen/anzen_school/suiei2018/suiei2018_0.pdf

消費者庁「幼稚園等のプール活動・水遊びでの溺れ事故を防ぐために」

https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching_material/

(3) プール施設の管理は利用者の命を守る重要な任務であることを踏まえ、安全管理に携わる全ての従事者に対し、プールの構造設備及び維持管理、事故防止対策、事故発生等緊急時の措置と救護等に関し、就業前に十分な教育及び訓練を行うこと。

また、使用期間中に新たに雇用した従事者に対しても、就業前に同様の教育、訓練を行うこと。

2. その他の留意事項について

(1) 集団で水泳を行う場合には、引率者や指導者の責任分担を明確にして、指導・監督が周知されるようにすること。また、班の編成に当たっては、引率者の指導・監督が全員に行き届く程度の人数に編成すること。

(2) 海、河川、用水路、湖沼池、プールなどの水難事故発生のおそれのある場所については、必要に応じて防護柵、蓋、危険表示の掲示板や標識の整備、監視員の配備、巡回指導の周知など、市町村、警察署、消防署、海上保安部署、保健所等との協力により点検等を行い、事故防止のため万全の安全確保措置を講ずること。

なお、幼児の水難事故も多く発生しているので、前記の事故防止措置については、幼児の行動にも配慮した万全のものとするとともに、保護者が監督を怠ることがないように、広報等によってこの趣旨の周知を図ること。

【参考】海上保安庁「ウォーターセーフティガイド」

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>

公益財団法人B&G財団「水辺の安全学習アプリ」

<https://mizube-anzen.jp/>

(3) 水泳場を利用する場合、その選定に当たっては、保健所その他の関係諸機関の協力を得て、農薬、油、工場廃液、その他浮遊物等による水の汚染状況、水底の状態、潮流などを必ず事前に調査して適切な場所を選定すること。また、水泳区域標識、監視所、救命用具など事故防止のための施設・設備等を確認するとともに、救急体制を確立するよう配慮すること。

スポーツ庁

電話：03-5253-4111（代表）

健康スポーツ課

担当：藤谷、永山

（内線：2998）

kensport@mext.go.jp

[学校体育担当]

担当：岸、児玉

（内線：2674）

政策課企画調整室

skikaku@mext.go.jp

[学校運動部活動担当]

担当：林、行武

（内線：3953）

地域スポーツ課学校運動部活動係

tiikisport@mext.go.jp

[学校プール施設・社会体育施設担当]

担当：井上

（内線：3773）

参事官（地域振興担当）付施設企画係

stiiki@mext.go.jp

県立学校長
市町村（組合）教育委員会教育長
（岡山市を除く。） 殿

岡山県教育庁保健体育課長

学校教育活動等における熱中症事故の防止について（依頼）

平素から、児童生徒の安全管理及び指導について、御尽力いただき感謝申し上げます。

このことについて、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課及び文部科学省初等中等教育局教育課程課から別添写しのとおり依頼がありました。

学校の管理下における熱中症事故のほとんどが体育・スポーツ活動によるものでありますが、運動部活動以外の部活動や、屋内での授業中、登下校中においても発生しており、それほど高くない気温（25～30℃）の時期から適切な措置を講ずることや、暑さ指数（WBGT）等を活用して熱中症の危険性を適切に判断する等、活動の場所や種類にかかわらず、水分補給等を含めた適切な安全管理をお願いします。

また、今年度は、昨年度に比べ様々な活動が幅広く展開されることが見込まれることから、各学校において、熱中症事故の防止について適切に御対応いただきますようお願いいたします。

なお、市町村（組合）教育委員会におかれましては、貴管内の学校（園）に対して周知徹底と御指導をお願いします。

【本件担当】

岡山県教育庁保健体育課 学校体育班

指導主事（主幹）宮崎 准二

TEL (086) 226-7592

FAX (086) 226-3684

運動会・体育会等における「組体操」の実施状況、負傷等調査結果

■調査方法 アンケート調査
※調査期間(令和5年4月～12月)

■集計対象 【小学校】市町村立小学校、義務教育学校前期課程(岡山市を除く)278校
【中学校】県立中学校 4校(中等教育学校を含む)
市町村立中学校、義務教育学校後期課程(岡山市を除く) 114校

■回答結果 R2は新型コロナウイルスの影響で未実施

1 「組体操」の実施状況について

種目又は表現運動として組体操を実施したか (校数)

	小学校			中学校		
	R5(278校)	R4(286校)	R3(289校)	R5(114校)	R4(114校)	R3(117校)
実施した	80 (29%)	36 (13%)	26 (9%)	3 (3%)	2 (2%)	0 (0%)
実施していない	198 (71%)	250 (87%)	263 (91%)	111 (97%)	112 (98%)	117 (100%)

2 ピラミッドの段数について

(校数)

	小学校			中学校		
	R5(47校)	R4(10校)	R3(2校)	R5(0校)	R4(0校)	R3(0校)
2段	9 (19%)	4 (40%)	0	0	0	0
3段	36 (76%)	5 (50%)	2 (100%)	0	0	0
4段	0	1 (10%)	0	0	0	0
5段	2 (4%)	0	0	0	0	0
6段	0	0	0	0	0	0
7段	0	0	0	0	0	0

3 タワーの段数について

(校数)

	小学校			中学校		
	R5(22校)	R4(5校)	R3(2校)	R5(3校)	R4(0校)	R3(0校)
2段	12 (55%)	3 (60%)	0	2 (67%)	0	0
3段	8 (36%)	2 (40%)	1 (50%)	1 (33%)	0	0
4段	2 (9%)	0	1 (50%)	0	0	0
5段	0	0	0	0	0	0

4 負傷について

負傷とは、日本スポーツ振興センターへ医療費を請求したもの (件数)

	小学校			中学校		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3
骨折	4 (25%)	0	1 (50%)	0	0	0
靭帯損傷	1 (6%)	2 (50%)	0	0	0	0
打撲	5 (31%)	1 (25%)	0	1 (100%)	0	0
捻挫	5 (31%)	1 (25%)	0	0	0	0
挫傷	0	0	0	0	0	0
脱臼	0	0	0	0	0	0
その他	1 (6%)	0	1 (50%)	0	0	0
合計	16	4	2	1	0	0

【運動会実施時期と組体操での負傷の関係】

(校数)

	小学校						中学校					
	R5(278校)		R4(286校)		R3(289校)		R5(114校)		R4(114校)		R3(117校)	
	運動会 実施校数	組体操での 負傷件数	運動会 実施校数	組体操での 負傷件数	運動会 実施校数	組体操での 負傷件数	運動会 実施校数	組体操での 負傷件数	運動会 実施校数	組体操での 負傷件数	運動会 実施校数	組体操での 負傷件数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	157	7	145	1	17	0	16	0	11	0	5	0
6月	2	1	7	0	9	0	20	0	25	0	6	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9月	90	4	88	1	91	0	44	0	50	0	48	0
10月	25	4	42	2	25	2	33	1	27	0	50	0
11月	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【骨折時の演技内訳】

(件数)

	小学校			中学校		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3
ピラミッド	0	0	0	0	0	0
タワー	0	0	0	0	0	0
その他	4	4	1	0	0	0

※その他は、ブリッジや倒立、サボテン、トビウオ、移動中など

【骨折時のピラミッド、タワー段数】

(件数)

	小学校						中学校					
	R5		R4		R3		R5		R4		R3	
	ピラミッド	タワー	ピラミッド	タワー	ピラミッド	タワー	ピラミッド	タワー	ピラミッド	タワー	ピラミッド	タワー
2段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7段	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

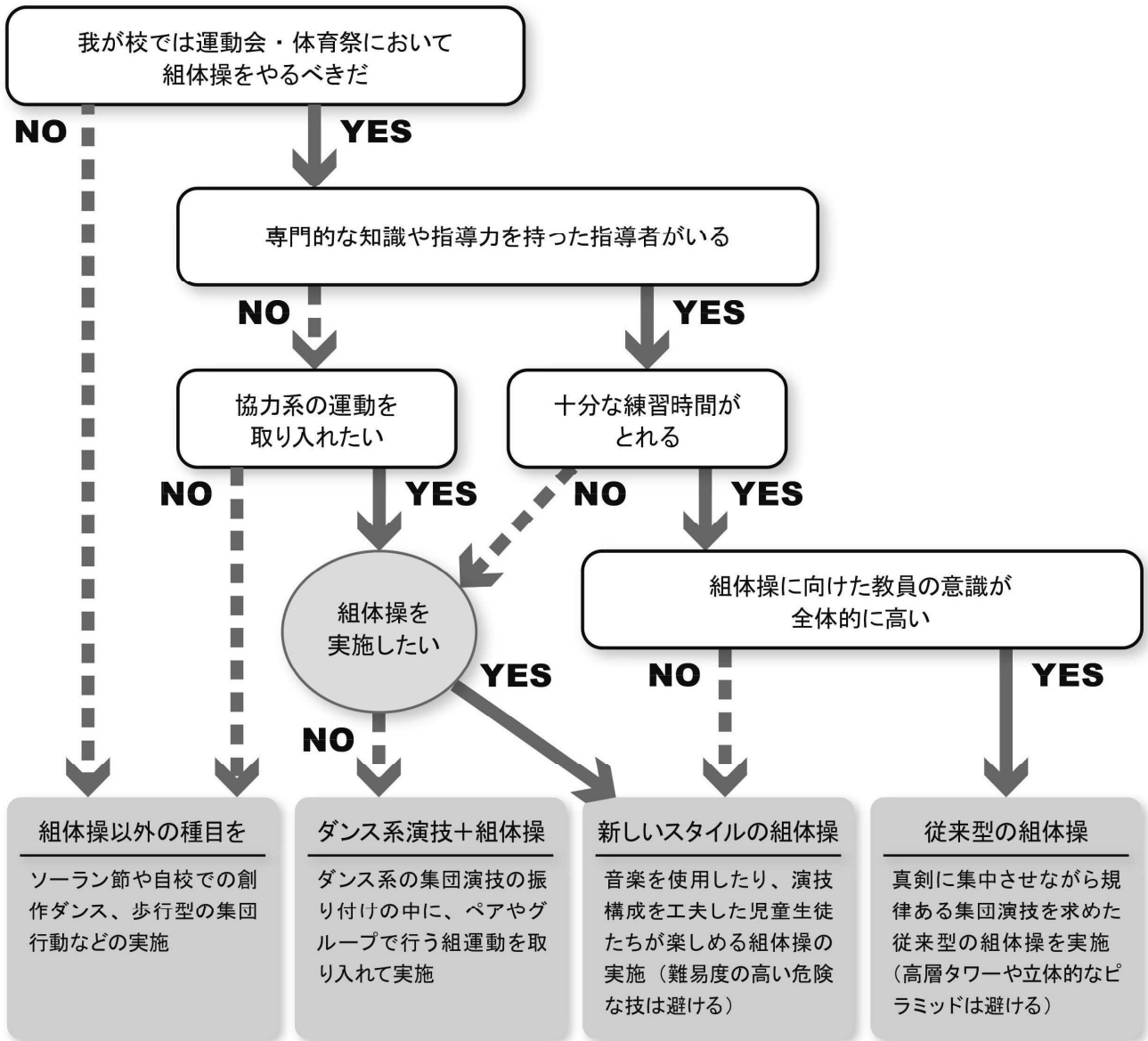
【今年度の骨折事案】

技	学年	性別	負傷部位	負傷状況
二人バランス	6	女	手関節	二人バランスの際、バランスを崩し転倒してけがをした。
補助倒立	6	女	足・足指部	体育館での練習の際に、補助する側が受け止められず、着地時に床で足をぶつけてしまいけがをした。
サボテン	6	男	胸部	サボテンの下で支えていて、バランスを崩して上の人が落ちた時、支えていた腕が自分の胸を圧迫してけがをした。
すべり台	6	男	足・足指部	友達に足を上げて支えてもらっている際に、自分でバランスを崩し、ひねった様になりけがをした。

5 調査結果から

- 組体操を実施する学校の割合は、小学校は約%、中学校は約%であった。
- 組体操の演技内容については、小学校ではピラミッド又はタワーを実施した学校は増加している。
- 負傷件数については、小学校、中学校ともにより12件増加した。骨折件数は4件であるが、靭帯損傷、打撲、捻挫が多く発生している。

Ⅲ 実施にあたってのフローチャート



※「体育的行事における事故防止事例集」（平成29年3月 独立行政法人日本スポーツ振興センター）より抜粋

運動会・体育大会等における組体操実施上の留意点

運動会等における組体操について、実施の有無や段数制限等、一律に禁止するものではないが、各学校において、児童生徒の安全確保の観点から、以下の点に留意すること。

- 1 組体操を実施する場合、管理職を中心に学校全体で実施内容・計画等を確認し、事故防止に万全を期すこと。

また、PTA総会や学校だより等を利用し保護者の理解が得られるように努めること。

- 2 演技構成については、前年度までの実績や教員の経験則で計画することなく、児童生徒の体力や集団の状況等を十分に考慮し計画すること。

特に、「塔（タワー）」や「ピラミッド」については、高さの検討も含め慎重に判断すること。

- 3 指導する教員については、次の点に留意すること。

- ① 児童生徒に、ねらいや安全について事前の指導を徹底する。
- ② 練習は余裕を持った計画で行い、教員の事故防止の役割を明確にする。
- ③ 演技のポイントや注意点をわかりやすく伝え、成功のイメージを持たせる。
- ④ バランス・補助倒立等の基本動作や組立てに至るまでの動きを繰り返し指導し、安全に実施できるものを当日演技させる。
- ⑤ 練習を含め、活動する場所の広さ、床やグラウンドの状況等に十分注意する。
- ⑥ 児童生徒の体調に留意し、無理をさせない。

令和6年度 体育、保健関係研修講座 日程一覧表

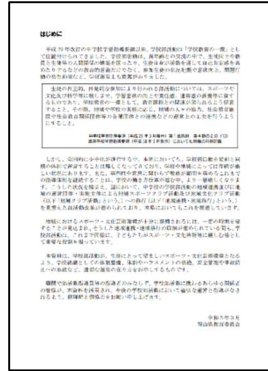
日程	講座名	研修形態	日程
5月7日(火)	小学校体育担当者研修講座	遠隔研修	P M
5月15日(水)	中・高等学校体育担当者研修講座	遠隔研修	A M
5月17日(金)	新任保健主事研修講座	遠隔研修	P M
5月29日(水)	学校安全研修講座(小・中・高・特)	eラーニング	原則当日受講 6/5までに受講
6月3日(月)	学校保健研修講座(小・中・高・特)	eラーニング	原則当日受講 6/10までに受講
10月23日(水)	栄養教諭・学校栄養職員研修講座	遠隔研修	P M
11月5日(火)	中学校・高等学校保健体育研修講座	集合研修	一日
11月8日(金)	養護教諭のための専門性向上研修講座	集合研修	一日
11月11日(月)	栄養教諭・学校栄養職員のための専門性向上研修講座	集合研修	一日
11月15日(金)	小学校体育研修講座	集合研修	一日
11月18日(月)	養護教諭研修講座(幼・小・特)	遠隔研修	P M
11月19日(火)	養護教諭研修講座(中・高・特)	遠隔研修	P M
※上記の日程については4月12日現在のものです。			

【 指導資料紹介 】

■学校部活動指導資料

岡山県教育委員会 令和5年3月

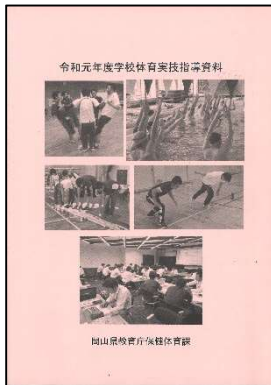
【URL】 https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/604890_8057291_misc.pdf



本資料は、学校部活動の運営方法や指導方法等について参考となるよう、また、県方針を踏まえた適切な学校部活動の実践により、本県の学校部活動の充実・発展の一助となるよう、これまでの「運動部活動指導資料」を改訂したものです。

■令和元年度学校体育実技指導資料

岡山県教育庁保健体育課 令和2年3月



岡山県教育委員会では、体育授業の進め方や実技指導の参考となる「学校体育実技指導資料」を作成しています。御参考いただき、指導に御活用ください。

■いきいき岡山っ子 体力アッププログラム ~追加プログラム~

岡山県教育庁保健体育課 平成31年3月

【URL】 <http://www.pref.okayama.jp/page/600544.html>



平成24年度に作成した「いきいき岡山っ子体力アッププログラム ハンディーバージョン」の追加運動プログラムとして作成したものです。
各学校の体力向上等の取組に御活用ください。

■いきいき岡山っ子 体カアッププログラム ハンディーバージョン

岡山県教育委員会 平成25年2月

【URL】 <http://www.pref.okayama.jp/site/16/273609.html>



岡山県教育委員会では、平成21年度から「いきいき岡山っ子体カアッププログラム」をスタートさせ、小学校から高等学校までの児童・生徒の体力向上へ向けた取組を行ってきました。

児童生徒の向上や、体育授業指導の改善等にお役立てください。

■岡山県オリンピック・パラリンピック教育推進事業 実践事例集

岡山県教育庁保健体育課 令和4年2月



令和3年度のオリンピック・パラリンピック教育推進校12校でのオリンピック・パラリンピック教育実践をまとめたものです。

各学校でのオリンピック・パラリンピック教育の推進等にお役立てください。

■「体づくり運動」「体育理論」リーフレット

文部科学省 平成23年3月

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1306082.htm



中学校・高等学校の保健体育科教員向けの資料で、体力の向上及び知識の学習を一層重視する視点から各領域の指導内容を明確にするとともに、校種間の円滑な接続が図られるよう作成されています。

■体づくり運動（改訂版）

文部科学省 平成25年3月

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1325499.htm



指導内容の系列化を図るとともに、体力向上等を重視する視点から、具体的な指導内容を明確にしています。

■小学校体育（運動領域）指導の手引 ～楽しく身に付く体育の授業～

スポーツ庁 令和4年4月26日

【URL】 https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/jsa_00003.htm



小学校の学年別（低・中・高）、領域ごとの指導と評価の計画の例、指導内容や指導上の留意点、具体的な授業づくりのポイント、中学校への接続を踏まえた計画の立て方などが多く掲載されています。

■表現運動系及びダンス指導の手引

文部科学省 平成25年3月

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1336654.htm



生涯にわたるスポーツライフの実現に向けて、学習指導要領に沿った指導の目的や内容を具体的に示すために作成されました。

理論編では具体的な指導内容等、実践編では指導と評価の計画や授業例等が掲載されています。

■柔道指導の手引

文部科学省 平成25年3月

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1334217.htm



学習指導要領の改訂を踏まえ、安全指導はもとより、写真を多用することで見やすくし、実践事例を多く掲載することで、柔道の指導が充実するような内容となっています。

■水泳指導の手引

文部科学省 平成26年3月

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1348589.htm



学習指導要領の体育科、保健体育科の「水泳系及び水泳」のねらいや内容を踏まえ、各校種での指導において参考となるよう作成されています。

■器械運動指導の手引

文部科学省 平成27年3月

【URL】 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1356152.htm



小・中・高等学校の体育・保健体育の「器械運動系」のねらいや内容を踏まえた各学校での指導において参考となるよう作成されています。

■スポーツ事故防止 ハンドブック

独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成27年3月 全学校等に配布

【URL】http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/tabid/1746/Default.aspx



スポーツ中に起こり得る様々な事故の防止に向けた対応や対策がフローチャート等でわかりやすく掲載されています。

■学校安全ナビ

独立行政法人日本スポーツ振興センター 年3回発行 全学校等に配布

【URL】<http://www.jpnsport.go.jp/anzen/kankobutuichiran/tabid/996/Default.aspx>



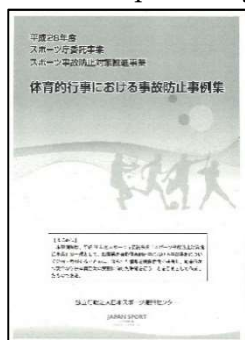
学校生活における重大事故の情報等が掲載されています。

■組体操を含む体育的行事における事故防止に関する参考資料

独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成29年3月

〈全小学校・中学校等に配布〉

【URL】http://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/bousi_kenkyu/tabid/1809/Default.aspx



組体操を含む体育的行事における事故事例について分析・考察し、効果的かつ安全な学校体育活動の実現に向けた事例がわかりやすく掲載されています。

【映像参考資料】

■ 小学校体育（運動領域）デジタル教材

文部科学省 平成26年3月 〈全小学校に配布〉



小学校の学年（小・中・高）ごとの指導内容や指導上の留意点、中学校への接続を踏まえた計画の立て方などが、映像として分かりやすく、多く掲載されています。

■ 柔道指導のための映像参考資料

文部科学省 平成26年3月 〈全中・中等教育学校学校、高等学校に配布〉

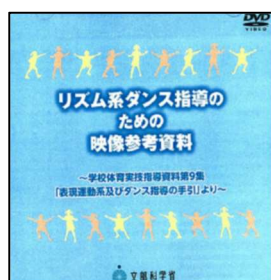


柔道指導の手引きを映像によってより分かりやすい映像資料としています。

学習指導要領の改訂を踏まえ、安全指導はもとより、実践事例を多く示すことで、柔道の指導が充実するような内容となっています。

■ リズム系ダンス指導のための映像参考資料

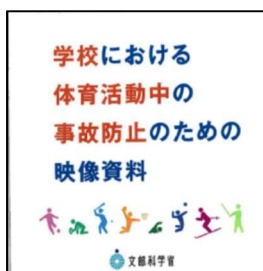
文部科学省 平成26年3月 〈全小、中・中等教育学校学校、高等学校に配布〉



リズム系ダンス指導を、映像や音楽を交えながらより分かりやすく理解できるように作成されています。具体的な指導内容等、指導と評価の計画や授業例等も分かりやすく説明しています。

■ 学校における体育活動中の事故防止のための映像資料

文部科学省 平成26年3月 〈全小、中・中等教育学校学校、高等学校に配布〉



文部科学省が平成24年7月にとりまとめた「学校における体育活動中の事故防止について（報告書）」の内容を中心に、体育活動中の事故を防止するために留意すべき事項等を映像で示したものです。

■ ファジアーノ岡山の選手よりメッセージ映像



「ファジアーノ岡山」が、選手の「子どもたちに夢を！」の熱い思いをもとに授業等で活用できるメッセージ映像を作成しています。

中学校等の部活動での指導場面でも活用できるメッセージ内容になっていますのでご活用ください。

【メッセージ動画に関する問い合わせ先】
株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ
ホームタウン推進部 長船 博司
電話：086-948-5654
メール：osafune.hiroshi@fagiano-okayama.com